

事業報告書

(令和元年度)

社会福祉法人生活・文化研究所

目 次

I.	中期3か年目標（ビジョン）に基づく取組み状況	1
II.	運営状況	4
	1. 実施事業	
	2. 地域における公益的な取り組み	
	3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況	
	4. 施設整備・備品等の購入	
	5. 職員配置	
	6. 苦情受付状況	
	7. 指導監査の実施状況	
III.	事業所報告	8
	1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	
	2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）	
	3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）	
 (附属明細書)		
IV.	組織体制	12
	法人組織体制図	
	1. 役員等	
	2. 推進会議	
	3. 法人内委員会	
	4. 苦情解決体制	
	5. 虐待防止管理体制	
	6. 防火管理	
V.	職員研修	15
VI.	就労継続支援B型事業 生産活動の状況	16

I. 中期3か年目標（ビジョン）に基づく取組み状況

『平成31年度～33年度中期経営計画書「第5章 具体的な施策と重点課題」』に従い、今年度は以下の内容に取り組んだ。

1. 利用者の満足、家族の安心を得る福祉サービスの提供

① 人権の尊重

- ・ 職員全員研修において、倫理教育及び利用者のプライバシー及び個人情報保護について研修を実施。次年度以降も継続して取り組む。
- ・ 苦情解決関係者等研修会へ参加し相談援助技術の取得に努めた。苦情解決体制の取り組みとして、第三者委員の定期訪問・相談日の設定、意見箱の設置を行い、相談しやすい環境づくりに努めた。
- ・ 県の虐待防止研修（管理者編、従事者編）へ参加し、権利擁護の重要性や発生時の対応、虐待防止体制等について理解を深めた。全職員対象に虐待防止研修及びチェックリストを実施し、虐待についての基本的な考えや自己の支援の振返り等を行った。

② サービスの質の向上

- ・ 個別支援計画に基づき、一人ひとりのエンパワメント支援を推進した。サービス提供方針は明文化しているが、方針の揺らぎや支援方法の共有化に課題があがっており、次年度も継続して取り組む。
- ・ 業務手順やマニュアルの未整備部分があり、引き続きマニュアルの整備及び周知を図る。
- ・ 利用者・ご家族様アンケートの結果内容を踏まえ、可能なものについては改善を図っている。
- ・ サービスの自己評価を実施し、課題把握に努めた。

③ 利用環境の向上

- ・ 災害時に備えたライフラインの点検実施、防災対策計画の見直し、備蓄品のリストアップを行った。緊急時に備え、職員の伝達訓練を行った。
- ・ 五戸警察署においていただき、交通安全学習・防犯研修会（架空請求等）を開催した。
- ・ 通所事業の建物が手狭で利用者様にご不便をおかけしているが、農場や加工場にロッカーを整備したり、時間をずらす等の工夫をして対応した。
- ・ 経年化に伴い、グループホーム棟の居室ストーブ、台所のエアコンの買替え、浴室換気扇交換、洗面所の壁面雨漏り修理を行った。
- ・ 毎月建物内の点検をし、破損や故障個所の把握と修繕を行い、安全な利用環境を保つよう努めた。
- ・ 感染症マニュアルの点検及び消毒用液剤の設置等を行っている。新型コロナウイルス感染症対策の周知徹底を図り、咳エチケットや手洗いうがい、毎日の検温、定期的な換気、部屋の消毒等を行っている。

- ・ 通所事業では、日々の仕事の他、家族会のバス旅行やレクリエーションへの参加、五戸まつりやまける市の見学等、楽しみを感じられる活動を取り入れている。毎日の給食も、自家栽培の野菜をたくさん使用し、季節感のある温かい食事提供を行っている。

2. 人を大切にし、人を育て、人を活かす職場環境の確立

④ トータル的な人材マネジメントの推進

- ・ 役職者任免規程、人事評価規程、キャリアパス規程等を整備した。体系的な研修プログラムの構築には至っておらず、次年度以降の課題とした。

⑤ 人材の定着に向けた取り組みの強化

- ・ 就業規則や育児介護休業規程等の労務関係規程の見直しと、タイムレコーダーを導入するなど、人事・労務管理体制の適正化を図った。
- ・ 有給休暇の確実な取得のため、各部署での業務調整と取得状況の周知を行った。
- ・ キャリアパスの明確化により、将来を描けるような仕組みづくりに取り組んだ。
- ・ ハラスメント防止規程の整備及び相談窓口を設置した。
- ・ 非正規職員の処遇向上の取り組みとして、労働時間への配慮、賞与支給（継続事項）、希望者の福利厚生事業への加入、正職員転換等を行った。
- ・ 現役世代の人材確保が難しく、定年引上げや継続雇用により人材確保に努めている。

⑥ 人材の育成

- ・ 階層に応じた必要な研修や資格について整理を行い、キャリアパス対応の外部研修に参加した。体系的な研修プログラムの構築が課題。

3. 地域から信頼される経営マネジメントの実践

⑦ 法令遵守（コンプライアンス）の徹底

- ・ 各種研修会に参加し、遵守すべき事項の情報収集と改正法への対応に努めた。（働き方改革、消費税改正、食品表示法）
- ・ 公益通報者保護規程の整備及び通報相談窓口を設置した。

⑧ 健全な財務規律の確立

- ・ 決裁規程を整備し決裁権限者の明確化を図るとともに、文書管理規程及び物品購入ルール（決裁と検品体制）を見直し、内部牽制体制の強化に努めた。
- ・ 安定的な収益の確保及び中期経営計画に基づいた単年度計画及び予算書の策定に努めている。

⑨ 経営者としての役割

- ・ 経営理念や基本方針は、事業計画書への記載、掲示、職員全員研修や会議等の場を活用し、周知徹底を図った。
- ・ 年2回評価会議を設け、計画の進捗状況の振り返りを行っているが、取り組み内容が不十分なところもあり、目標達成の精度を上げることが今後の課題である。
- ・ 次世代の育成を見据え、階層別キャリアパス研修（外部研修）に参加した。経営者層の後任育成が課題である。



↑ご意見箱の設置



↑苦情受付窓口、虐待防止体制の掲示



↑ハンドソープ・手指消毒剤の設置



R1.4 交通安全学習・防犯研修会の開催



R1.8 郡育成会愛の輪レクリエーションへの参加↑

II. 運営状況

1. 実施事業

<第二種社会福祉事業>

(1) 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）

サービス種類：指定共同生活援助（介護サービス包括型）

定 員：5名

適用年月日：H30.10.1～R6.9.30

(2) 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
定 員	10名	20名
適用年月日	H29.1.1～R4.12.31	H27.4.1～R3.3.31

(3) 相談支援事業所移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））

サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

適用年月日：H26.4.1～R2.3.31（更新済：R2.4.1～R8.3.31）

<第二種社会福祉事業以外の事業>

(4) 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）

定 員：8名

2. 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者就労訓練事業

三戸地域自立相談窓口等と連携し、生活困窮者への就労支援・中間的就労の場を提供。今年度の受入れはなかった。

(2) 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

参加社会福祉法人として総合相談（トータルサポート）を行う。相談支援事業を中心に活動説明会や研修会に参加しており、更なる相談窓口としての機能強化を図っている。

(3) 地域住民対象の行事開催

移山寮収穫祭やグリーン・ツーリズム体験を開催。地域住民との交流を通じ、障害者への理解を深めてもらう機会としている。

(4) 地域行事や取組への協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）、地域で行われる事業や取組に参加・協力した。（出店やステージ出演等）

(5) 地域への活動場所提供

子どもあそびの広場（五戸町放課後子供教育推進事業）へ畑の一部を活動場所として提供。

(6) ボランティアの受け入れ

小・中学生の福祉職場体験の受け入れを行った。

3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況

(1) 監事監査会

開催日時：令和元年5月17日 13:30～15:15

場所：移山寮本館 多目的室

出席監事：三浦啓子、金澤實

出席理事・職員：大西一男理事長、大西祐子施設長、松山事務長、小泉

重大な指摘事項：なし

(2) 理事会

開催日	出席者数		主な議案等
	理事	監事	
5月27日	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕平成30年度事業報告、計算関係書類等の承認、 定時評議員会の招集事項、規程類の改正 〔報告事項〕理事長職務執行状況報告
6月17日	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕理事長選出
11月11日	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕令和元年度補正予算案、規程類の改正 〔報告事項〕指導監査の実施結果、理事長職務執行状況報告、 事業中間報告、経理中間報告
3月23日	6名	2名	〔決議事項〕令和元年度補正予算案、令和2年度事業計画案、 令和2年度当初予算案、重要な職員の任免、 規程類の新設及び改正 〔報告事項〕社会福祉充実残額見込み

(3) 評議員会

開催日	出席者数	主な議案等
6月17日	評議員6名(欠1名) 監事2名、理事2名	〔決議事項〕平成30年度計算書類等の承認、役員選任 〔報告事項〕平成30年度事業報告

4. 施設整備・備品等の購入

月	品目	目的等	購入先	金額
6月	刈払機 ¥43,200×2台	農場・受託で使用/経年に伴う買替え	ヤンマー農機販売	86,400円
9月	ラベルプリンター-NE07 H23TC	食品表示に使用	成家	182,520円
11月	デスクトップパソコン HP 6EF24AV-AULF	事務職員用/経年に伴う買替え	テクノル	153,780円
11月	タッチオンタイムレコーダー	勤怠管理に使用	アスクル	98,780円
11月	FFストーブ サンポット FF-4211TLS	GH居室(5号室)/経年に伴う買替え	高賢燃料	78,870円
11月	エアコン日立 RAS-AW25J	GH台所/経年に伴う買替え	高賢燃料	94,270円
3月	本館 軒天工事	破損個所の修理	太田技建	151,800円
3月	GH棟洗面所壁工事	雨漏り修理	太田技建	64,900円



R1.9 ラベルプリンター



R1.11 タイムレコーダー



R2.3 本館 軒天工事↑



←R2.3 GH棟洗面所壁工事(内外)

5. 職員配置 (R2.3月末現在)

区 分	職 名	常 勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活ホーム 移山寮	管理者	1名			
	サービス管理責任者	兼1名			
	世話人		2名	1.0	
多機能型障害福祉 サービス事業所 移山寮	管理者	兼1名			
	サービス管理責任者	1名			
	生活 介護	嘱託医師		(1名)	(0.1)
		看護職員		1名	0.3
		生活支援員	1名		
	B 型	職業指導員	2名	6名	3.2
		生活支援員	1名	1名	0.6
		目標工賃達成指導員	1名		
		農業指導員		1名	0.2
	調理員		2名	1.2	
	送迎担当者(交代要員含む)		4名	1.0	
事務職員	2名				
相談支援事業所 移山寮	管理者	兼1名			
	相談支援専門員	1名			
合 計 <常勤+非常勤>		28名	11名	17名	7.5

6. 苦情受付状況

1件

年月	申し出た方	内 容	経過及び結果
R2.2	ご家族様	ご本人様の髪型について注意されたことがきっかけで、本人が通所できない状況になったとの訴えが第三者委員にあった。	職員に確認したところ、注意はしていないが、「どこで散髪したのか、かっこいい」という会話をしたとのことで、その旨をご家族に伝え、納得していただいた。

7. 指導監査の実施結果

実施日・場所: 令和元年8月9日、移山寮本館 多目的室

監 査 内 容: 令和元年度社会福祉施設等指導監査(法人の運営状況)

青森県地域健康福祉部福祉総室 監査指導課

出席理事・職員: 大西一男理事長、大西祐子施設長、松山事務長、小泉

指摘内容	改善状況
<運営管理> 監事の選任に係る評議員会の議案については、過半数の在職監事の同意を得ること。	次回、監事の選任手続きを行う際には、各監事ごとに作成した同意書、若しくは監事の連名による同意書を徴収する。

III. 事業所報告

1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）

- ・ 利用者一人ひとりの日常生活を営むための場所として、利用者本位の視点に立ったサービス提供に努めた。利用者個々の特性に配慮し、2名の世話人が連携し、利用者とのコミュニケーションをとりながら食事提供、小遣い帳記入、生活面、健康面等の支援を行った。
- ・ 入居者5名のうち、1名は4月1日～11月17日の期間、農事組合法人くらいしへ就職し、退職後は就労継続支援B型を3月31日まで利用した。他の3名は就労継続支援B型、1名は生活介護を利用した。
- ・ 一人ひとりのニーズ・特性を考慮し、支援計画の立案とモニタリングを行い、課題解決に取り組み、よりよい日常生活を送れるような支援に努めた。
- ・ 町内会の月1回のリサイクル活動や五戸まつりに参加し、積極的に地域交流を図っている。

(1) 利用者の利用状況（R2.3.31現在）

定員	利用者数	平均年齢	性別	障害支援区分の内訳
5名	5名	52歳	男5	【非該当】3名【区分1】1名、【区分3】1名

※日中活動先：生活介護1名、就労継続支援B型3名、一般就労1名（年度途中からB型）

(2) 開所日数と利用状況（R2.3.31現在）

※平均利用者数5.0人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	145	155	1,830人

(3) 主な年間行事

博労町自治会リサイクル活動	年12回	毎月1回
入居者会議	年6回	4月、6月、8月、10月、12月、3月
誕生会	年4回	8月、11月、1月、3月
利用者健康診断（多機能型と合同）		7月
協力医定期健診（多機能型と合同）		9月
消防訓練		8月、12月

2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）

生活介護では、サービス提供延数が123.9%、平均利用数が124.9%（いずれも前年度比）と利用率を伸ばすことができた。利用者それぞれの移山寮での過ごし方が確立してきており、利用者本人の自分らしい生き方ができるような支援に努めている。

一方で、精神的に不安定で月に数回しか通所できなかつたり、金銭管理がうまくできず安定した生活が送れない等、難しい問題を抱えている利用者もあり、今後どのように関わっていくかが課題である。

就労継続支援B型では、利用者一人ひとりの希望や能力、特性を活かした支援に努めており、「加工、農業、受託、手芸、カフェ」の5領域の生産活動等の中から得意な仕事を選択することで、働く意欲や工賃向上に結び付いている。企業に出向いて働く「施設外就労」先との連携を密にし、今後も継続し地域社会との関わりを大事にしていきたいと考えている。

利用者数は、新規が2名増えたが、生活介護への移行1名、一般就職や他事業所への移行2名、その他の理由による退所が1名あった。

また新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月上旬から郷土館カフェが休業となった他、外販活動も中止となり、今後の影響が心配される。

(1) 利用者の状況（R2.3.31現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	障害種別	住居のある地域
生活介護	10名	11名 (男性6、女性4)	56歳	知的5/身体4/精神2	五戸10
就労継続支援B型	20名	29名 (男性18、女性11)	43歳	知的22/身体1/精神6/	五戸22/新郷4/十和田2/八戸1

(2) 開所日数と利用状況

<生活介護> ※平均利用者数7.3人/日[前年度比124.9%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	21	21	20	22	17	19	21	20	20	20	19	21	241日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	175	154	126	145	100	138	171	166	158	148	125	153	1,759人

※前年度平均利用者数…5.8人

<就労継続支援B型> ※平均利用者数20.3人/日[前年度比101.3%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	25	27	29	29	28	25	28	27	24	21	23	22	308日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	516	543	522	576	455	522	540	533	526	511	463	542	6,249人

※前年度平均利用者数…20.0人

(3) 主な年間行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4月	家族会総会・事業説明会 交通安全学習・防犯研修会	
5月	熱中症等予防啓発	五戸町民生児童委員ジャガイモ植え 新郷村チャレンジデー参加
6月	第三者委員定期訪問① 利用者会議① 消防部分訓練① 家族会バス旅行	グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験（参加者5名） ※「あそびの広場」へ活動場所の提供
7月	利用者健康診断	
8月	大掃除	郡育成会愛の輪レクリエーション参加 五戸まつり見学
9月	第三者委員定期訪問② 協力医診察（田中医院）	川内中学校福祉体験学習 五戸町民生児童委員ジャガイモ収穫 五戸高校シソの実収穫ボランティア 家族会シソの実収穫の手伝い ※「あそびの広場」へ活動場所の提供
10月	消防総合訓練②	切谷内小学校来所ボランティア 福祉バザー見学&演芸会出演
11月	インフルエンザ予防接種（田中医院） 利用者会議② 収穫祭バザー	
12月	利用者会議③ 大掃除	五戸町社会福祉大会見学 マックスパル北園店よりお菓子寄贈・ボランティア来所
1月	新年会	
2月	第三者定期訪問&相談日③	ふれあいフェスティバル参加 まける市見学 『昭和の歌コンサート「時代」』見学

3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）

前年度、前任者の退職の際、当時保有していた三戸方面及び南部町、倉石方面の障害児ケースを他の事業所に振り分けたが、三戸町より再度障害児ケース 5 名の依頼があり、引継ぎを行った。その後も、十和田市、七戸町、おいらせ町等の新規ケースの依頼があり、本人やご家族の希望に応じた生活ができるよう、丁寧なサービス提供に努めた。

今年度は利用者様が亡くなったり、介護保険に移行するケースが数件あったものの、新規で 30 名程度のケースが増え、現在の契約者数は障害児・者合わせて 104 件となっている。

今後も関係機関と連携をとりながら、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう配慮して計画作成を行う。

<特定相談支援事業>

(1) 契約者数（R2. 3. 31 現在）

99 件（五戸町 70 件、八戸市 6 件、三戸町 6 件、十和田市 5 件、新郷村 4 件、田子町 4 件、南部町 2 件、階上町 1 件、おいらせ町 1 件）

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	28	23	20	14	85
モニタリング	30	52	55	51	188
合計	58	75	75	65	273

<指定障害児相談支援事業>

(1) 契約者数（R2. 3. 31 現在）

5 件（三戸町 3 件、田子町 2 件）

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	5	0	0	0	5
モニタリング	0	1	4	0	5
合計	5	1	4	0	10